



命とところを守る
市政を!

横浜市会議員 / 看護師・防災士・博士(心身健康科学)

青葉台小・桐蔭・慶応大

田中 ゆき

討議資料

18
2021.5



プロフィール

- 青葉区育ち、青葉台小学校 ● 桐蔭学園高等学校 / 桐蔭会(監事)
- 慶應義塾大学商学部 / 体育会ボート部 ● 人間総合科学大学大学院 ● 日本航空CA(客室乗務員)
- 看護師(病院・企業・学校・保育・地域包括) ● 桐蔭横浜大学保健室 ● 衆議院議員江田けんじ秘書
- 所属委員会(常任)こども青少年・教育委員会 / 新たな都市活力推進特別委員会

Vol.18 マイボトルスポットの活用を!!

1 プラスチックによる海洋汚染や地球温暖化が問題に...

2 ワンウェイプラスチック

一度使用された後に廃棄されるプラスチック製品のこと

1位 45Kg/年 (USA)

2位 32Kg/年 (Japan)

日本のワンウェイプラスチック排出量は **世界第2位!!**

3 日本人一人当たり一年間約 **190**本使用

マイボトル持参を!

Reduce (リデュース) Reuse (リユース) Recycle (リサイクル)

スリム **ヨコハマ3R夢プラン**
横浜市のペットボトルごみを減らす取り組み

4 このロゴが目印

様々な店舗や公共施設で利用できます

マイボトルスポットの活用を!

マイボトルスポット ※

※市内356か所、青葉区27か所(2021年2月24日時点)



マイボトルスポットの活用を!

近年、プラスチックによる海洋汚染や地球温暖化が問題視されています。日本のワンウェイプラスチック(1回の使用で廃棄されるプラスチック製品)廃棄量は世界で2番目に多く、ペットボトルでは、国民1人当たり年間約190本使用しているとの報告もあります。

横浜市は「ヨコハマ3R夢プラン」にて、ペットボトルの減量に取り組んでおり、「マイボトルスポット」の登録を推進しています。マイボトルスポットでは、マイボトルを持参した方へ、コーヒーやお茶などを販売したり、水やお湯などが無料で提供されています。お出かけの際には、ぜひマイボトルを持参し、マイボトルスポットをご利用下さい。

マイボトルスポットの取組を広げるために!!

皆さんマイボトルスポットを利用したことがありますか？市内に356か所、青葉区内に27か所あるマイボトルスポットですが、皆さんの中には、「マイボトルスポット」という言葉を初めて聞いた方や、利用したことのない方も少なくないと思います。より多くの皆さんにマイボトルスポットをご利用頂き、プラスチックごみ削減を目指したいと思います！



田中ゆきが考える「マイボトルスポット」推進施策

- マイボトルスポットの知識普及
- マイボトル持参の取組支援
- マイボトルスポット登録推進
- マイボトルスポットの広報推進

マイボトルスポットへ
行ってみよう！



プラスチックが環境を汚染する！

プラスチックは石油から作られており、合成樹脂とも言われます。他の素材と比べ、軽量で丈夫、加工もしやすいことから、ペットボトルやレジ袋など、身近な製品や包装等に利用されています。一方で優れた耐久性、安定性があり、自然界で分解されにくいいため、ポイ捨て等により自然界に流出すると海洋汚染に繋がります。また、燃やすと地球温暖化の原因となる温室効果ガスが発生します。



ワンウェイプラスチックの削減を！

ワンウェイプラスチックは、一度使用した後に廃棄されるプラスチック製品のことを言います。ペットボトルやストロー、レジ袋、プラスチック製容器包装などがあてはまります。日本は、一人当たりの年間ワンウェイプラスチック排出量が、米国に次いで世界2位(米国約45kg、日本約32kg)です。EU諸国では、2019年にEU市場全体でのワンウェイプラスチック製品の流通を2021年までに禁止する法律が採択され、世界的にも削減の取組みが進んでいます。



「ヨコハマ3R夢プラン」とは？

3Rとは、Reduce (リデュース:ごみの量を減らす)・Reuse (リユース:繰り返し使う)・Recycle (リサイクル:資源として再利用する)の3つの頭文字「R」由来の言葉です。「ヨコハマ3R夢プラン」では、3Rの中で最も環境にやさしいリデュースの取組を進めており、ごみと資源の排出を削減し、環境負荷の低減を図っています。



ペットボトルごみの削減を！

横浜市が2019年に行った消費者アンケートでは、プラスチックによる海洋汚染が問題になっていることへの認知度は90%を超えていました。一方で、「マイバッグを使用しているので、不要なレジ袋は受け取らない」が75.3%、「マイボトルを使っているので、ペットボトルごみを捨てることがない(少ない)」が47.6%でした。特にペットボトルに関しては、国民1人あたり年間約190本も使用しているとの報告もあり、ペットボトルごみ削減の取組が重要です。

マイボトルスポットとは？

横浜市は「ヨコハマ3R夢プラン」におけるリデュース(ごみの量を減らす)の取組の一環として、ペットボトルやプラスチックカップ等のごみを削減するために「マイボトルスポット」の設置を進めています。「マイボトルスポット」には、カフェやコンビニの他、区役所や地区センター等が登録されており、マイボトルを持参した方へ、コーヒーやお茶などを販売したり、水やお湯などを無料で提供しています。



マイボトルスポットの活用を！

マイボトルスポットは横浜市内全体で356か所、青葉区内には27か所が登録されています。(2021年2月24日時点)マイボトルスポットは丸いブルーの「マイボトル使えます!」のロゴが目印です。また、横浜市ホームページでも検索することができます。

おでかけの際には、ぜひマイバッグにマイボトルを持参して、マイボトルスポットをご活用下さい！

横浜 マイボトルスポット

